

◎平成30年度事業運営の特徴と課題
-------------------

## 1. 各介護保険事業の状況

## (1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特別養護老人ホーム %	91.3	94.6	94.4	92.6	93.7	95.1	95.9	94.7	93.6	94.9	95.2	94.4	94.2% (99.8人)
ショートステイ %	112.7	130.3	154.7	170.3	172.6	154.7	142.3	145.0	167.4	164.5	158.2	152.3	152.2% (15.2人)
特養/SS合計 %	93.1	97.7	99.6	99.3	100.5	100.3	99.9	99.0	100.0	100.9	100.6	99.4	99.2% (115.1人)
デイサービス (一般) 人数	38.4	40.9	40.1	39.2	39.9	39.8	39.7	38.1	40.0	37.7	37.3	38.9	39.2人
デイサービス (認知) 人数	13.8	13.0	13.2	13.0	12.9	12.4	11.5	11.5	11.6	11.3	10.7	11.0	12.2人
デイサービス 合計 人数	52.2	54.0	53.3	52.2	52.9	52.2	51.2	49.6	50.0	46.1	48.0	49.3	51.4人
居宅 ケアプラン 件	70	76	78	76	75	82	84	84	94	87	91	87	82件
包括 予防プラン 件	445	450	453	466	462	471	468	467	467	465	444	440	458.1件

## (2) 特別養護老人ホーム／介護老人福祉施設の利用状況 (定員 106名)

年間利用人数は36,443名(99.8人/1日)でした。入退所の状況は、新規入所者が38人(昨年比126.7%)、退所者が43人(昨年比138.7%)でした。31年3月31日時点の平均年齢は、男性が81.3歳(昨年比-1.3歳)、女性が87.8歳(昨年比-0.6歳)で、最高年齢は103歳(女性)です。また、平均要介護度は3.70で、要介護3以上の入所者が全体の89.9%(昨年比-1.4%)でした。「看取り介護」は38人(昨年比158.3%)実施しました。

## (3) ショートステイ／短期入所生活介護の利用状況 (定員 10名)

年間利用人数は5,555人、年間稼働率は152.2%でした。昨年より522人、稼働率で14.3%増加しています。30年度は、年度当初は特養稼働率が低い中、相談員が異動したことなどによりショートステイの稼働は低下しましたが、第一四半期以降は、例年通り困難事例も積極的に受け入れ、利用ニーズに最大限対応しました。

## (4) デイサービス／通所介護事業の利用状況 (定員一般50名、認知22名)

年間利用人数は15,806人。1日平均利用人数は一般デイ39.2人、認知症デイ12.2人、合計51.4人でした。昨年より年間205人増加しました。一般デイでは編み物・麻雀・カラオケ・脳トレ・折り紙・習字・絵手紙・趣味活動やレクリエーション等、複数のメニューを用意し、ご利用者に毎日3種類程度の中から自由にお選び頂いています。個別機能訓加算Ⅰ、運動器機能向上加算を算定し、理学療法士と看護師を中心に実施し、レクリエーションの中にもリハビリを取り入れました。生活機能向上を目的とした体操と、身体機能維持を目的とした小グループ・個別での訓練を行いました。

認知症デイでは、ご利用者に安心して過ごして頂けるよう家庭的な雰囲気づくりを心掛けています。活動には、自宅で行っている掃除や食器洗いの家事等も取り入れて自立支援につなげています。また、認知症進行予防になるように回想法や音楽療法等のサービス提供も行いました。

## (5) 居宅介護支援事業

ケアマネジャーを1名増員し、3名体制で運営しています。ケアプラン数は介護予防を含めて1カ月平均で82件お受けすることが出来ました。

居宅介護支援事業所の運営には、最新の制度情報の収集や、ケアマネジャーのスキルアップが必要となるため、外部研修の参加等により制度の理解や専門性を高めるよう努めています。また、高齢者あんしんセンターとの連携によって困難事例の対応や相談支援業務も行っています。

## 2. 北区委託事業

### (1) 高齢者あんしんセンター事業（地域包括支援センター）

高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)事業を北区より20年4月に受託してから11年が経過し、圏域の高齢化率は42%・高齢者人口も約6900人に達しており、予防プラン以外の総合相談件数も年間約9,000件強となっています。地域活動としては、自治会、シニアクラブ、民生委員の方々との連携強化に努めております。そのほか、地域へのアウトリーチの一環として、赤羽台UR団地出張相談窓口を週1回開催、自治会が行うサロン活動へのサポート、ふれあい交流サロンの月1回開催など積極的に展開しています。さらに地域への認知症周知活動として、小学校・中学校での特別授業も計2回実施しており、地域で高齢者の方が安心して生活できるような環境作りにも取り組んでいます。また、地域公益活動として、桐ヶ丘商店街の中に「桐ヶ丘サロンあかしや」を、他の社会福祉法人与自然運営しています。その活動の中で「みんなの夕はん処」として地域食堂を年6回開催しました。さらに、今年度は東洋大学・東京家政大学と連携し、桐ヶ丘地域調査を実施しました。

### (2) 高齢者住宅事業

現在高齢者住宅2棟、計50戸に対して、各棟1人の生活援助員(LSA)を配置しています。高齢者住宅2棟の生活援助員による活動状況は、訪問365件、警報機対応39件、家事援助17件、不在対応4件、相談1件、その他257件でした。不在対応の内訳は入院時の対応がほとんどです。また、その他は、介護援助要素の強い方の呼び出しや対応、住宅供給公社、北区等との調整事項です。なお、生活援助員はコミュニティー支援、ケース会議にも参加しています。

### (3) 北区認知症高齢者一時保護事業

北区内での迷子老人の保護施設として事業参画して8年目になりました。30年度は、依頼件数が減少し、保護実績として2件で、延べ日数では4日間の一時保護を行いました。

北区立特別養護老人ホーム桐ヶ丘やまぶき荘